

### 3. 水はどこにためてあるの? — 配水池

川で行われた大きな工事



配水池の一つ。遠くから見ると「丘」のようにも見える。

川にしながらのふだんの暮らし

川にしながらの農業

川にしながらの漁業や工業

#### (1) 使う量が変わしてもいいように

水を使う量は、時間によって変わります。使う量に合わせて、きれいにする水の量を調整するのは、手間がかかりおだが多くなります。

そこで、きれいにした水をためておくことで、使う量が多くなっても余裕があるようにするのが「配水池」です。



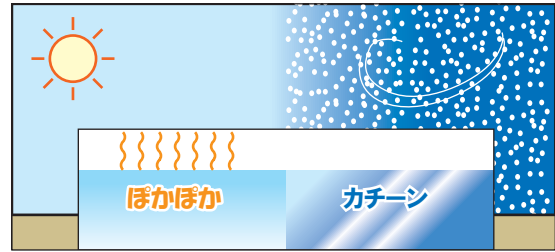
水洗トイレのタンクは、家の中にある配水池ともいえる。

#### (2) 水を保温するために

水道水は、夏の暑さで暖まっても冬の寒さでこおっても困ります。

そこで、多くの配水池は池の建物を土で厚くおおい、周りの気温変化に左右されにくいようにしています。

土を使わないで、建物の保温性を利用するタイプのももあります。



外の気温によって、水温が大きく変わると良くない。



土でおおって池の中の水温をあまり上げ下げしない。



配水池の一つ。土でおおわれているタイプ。



配水池の一つ。土でおおわれていないタイプ。

付録

協力・問い合わせ

※ 十勝中部広域水道企業団 0155-69-4114

※1 配水池(はいすいち): 水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように水道水をためておく池。